



CHAPTER 1

製品概要

Catalyst 3560-C および 2960-C の各スイッチ（単にスイッチとも呼ぶ）は、Cisco IP Phone、Cisco Wireless Access Point、ワークステーション、およびその他のネットワーク デバイス（サーバ、ルータ、他のスイッチなど）に接続できるイーサネットスイッチです。

これらのスイッチは、オフィスの作業場、ホテルの部屋、自動販売機、売店、教室などの従来のワイヤリング クローゼット環境外に配置できます。また、空間や電力の制約（電源コンセントの利用）がある配置に適しています。

スイッチの配置例については、スイッチのソフトウェア コンフィギュレーション ガイドを参照してください。

- 「[スイッチ モデル](#)」 (P.1-1)
- 「[前面パネル](#)」 (P.1-2)
- 「[背面パネル](#)」 (P.1-14)
- 「[管理オプション](#)」 (P.1-16)

スイッチ モデル

表 1-1 スイッチ モデルの説明

スイッチ モデル	説明
Catalyst 2960CPD-8TT-L	10/100 イーサネット ポート×8 および 10/100/1000BASE-T PD アップリンク銅線ポート×2
Catalyst 2960CPD-8PT-L	10/100 PoE ¹ ポート×8 および 10/100/1000BASE-T PD アップリンク銅線ポート×2
Catalyst 2960CG-8TC-L	10/100/1000 イーサネット ポート×8 およびデュアル パーパス ポート×2 (10/100/1000BASE-T 銅線ポート×1 および SFP ² モジュール スロット×1)
Catalyst 2960C-8TC-L	10/100 イーサネット ポート×8 およびデュアルパーパス ポート×2
Catalyst 2960C-8TC-S	10/100 イーサネット ポート×8 およびデュアルパーパス ポート×2
Catalyst 2960C-8PC-L	10/100 PoE ポート×8 およびデュアルパーパス ポート×2
Catalyst 2960C-12PC-L	10/100 PoE ポート×12 およびデュアルパーパス ポート×2
Catalyst 3560CG-8PC-S	10/100/1000 PoE ポート×8 およびデュアルパーパス ポート×2
Catalyst 3560CG-8TC-S	10/100/1000 イーサネット ポート×8 およびデュアルパーパス ポート×2
Catalyst 3560CPD-8PT-S	10/100/1000 PoE ポート×8 および 10/100/1000BASE-T PD アップリンク銅線ポート×2

表 1-1 スイッチ モデルの説明 (続き)

スイッチ モデル	説明
Catalyst 3560C-8PC-S	10/100 PoE+ ポート× 8 およびデュアルパーパス ポート× 2
Catalyst 3560C-12PC-S	10/100 PoE+ ポート× 12 およびデュアルパーパス ポート× 2

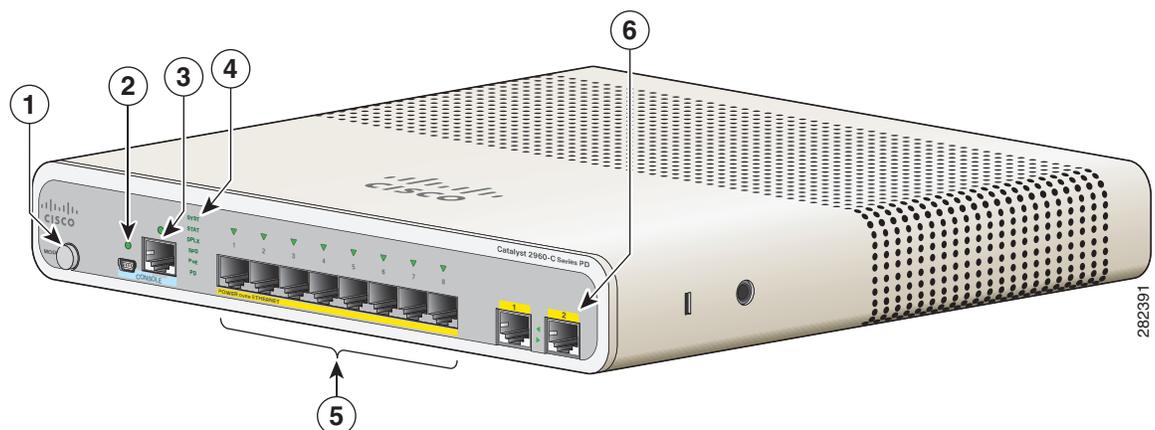
1. PoE = Power over Ethernet
2. SFP = Small Form-Factor Pluggable

前面パネル

- 次のいずれかのタイプのダウンリンク イーサネット ポート× 8 または× 12
 - 10/100
 - 10/100/1000
 - 10/100 PoE
 - 10/100 PoE+
 - 10/100/1000 PoE
 - 10/100/1000 PoE+
- 10/100/1000 アップリンク ポート× 2 またはデュアル パーパス ポート× 2
- RJ-45 コンソール ポート
- USB ミニタイプ B (コンソール) ポート
- USB タイプ A ポート (Catalyst 3560CPD-8PT-S、2960CG-8TC-L、3560CG-8PC-S、および 3560CG-8TC-S の各スイッチで利用可能)
- LED

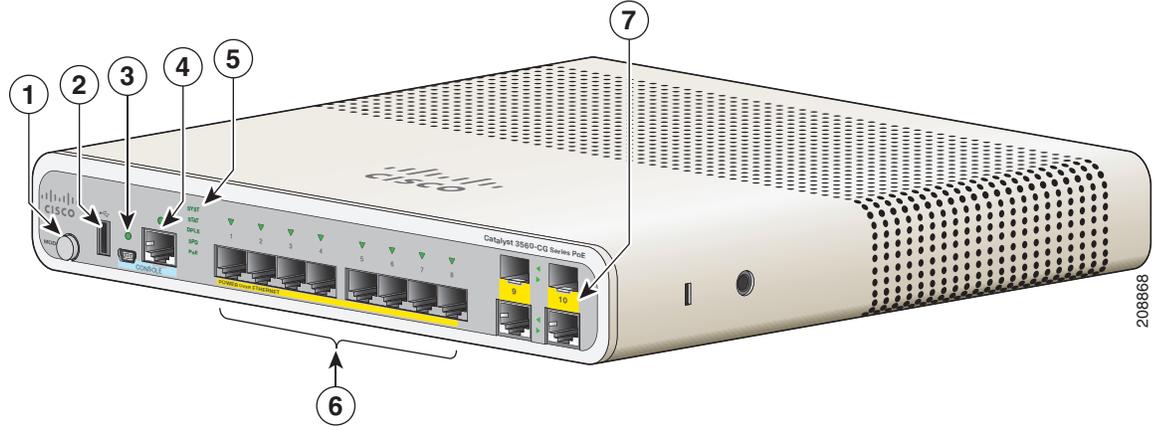
すべての 8 ポート スイッチおよび 12 ポート スイッチは、同様のコンポーネントを備えています。例については、[図 1-1](#)、[図 1-2](#)、[図 1-3](#)、[図 1-4](#)、および[図 1-5](#)を参照してください。

図 1-1 Catalyst 2960CPD-8PT-L スイッチの前面パネルの図



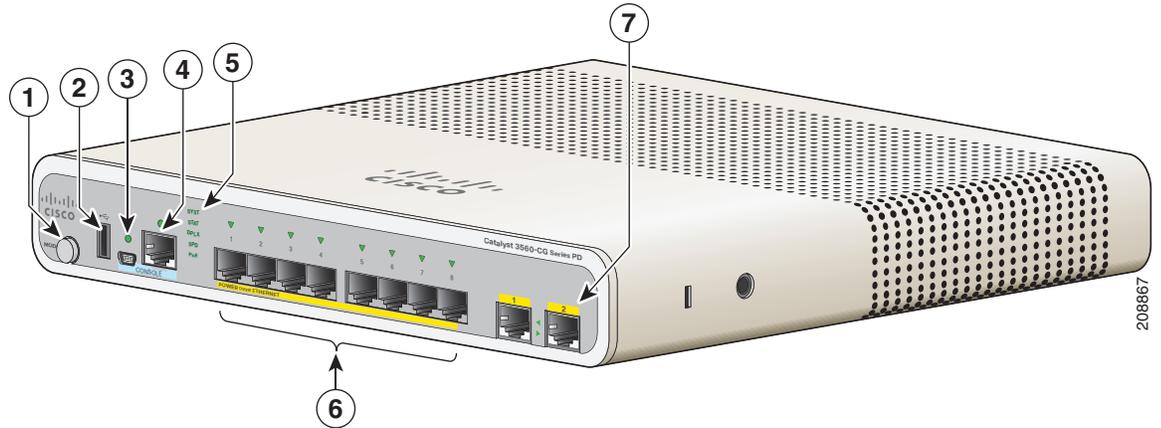
1	Mode ボタン	4	LED
2	USB ミニタイプ B (コンソール) ポート	5	10/100 PoE ポート
3	RJ-45 コンソール ポート	6	10/100/1000 アップリンク ポート

図 1-2 Catalyst 3560CG-8PC-S スイッチの前面パネルの図



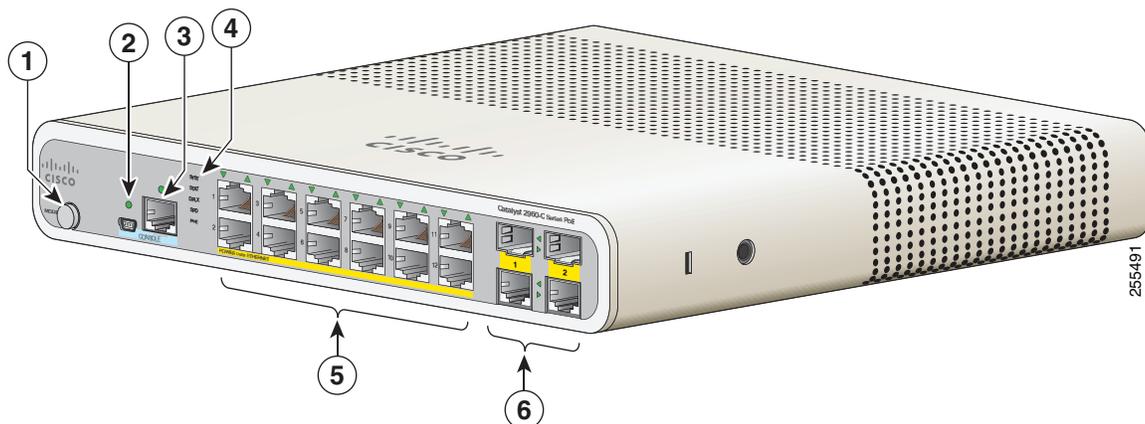
1	Mode ボタン	5	LED
2	USB タイプ A ポート	6	10/100/1000 PoE+ ポート
3	USB ミニタイプ B (コンソール) ポート	7	デュアルパーパス ポート
4	RJ-45 コンソール ポート		

図 1-3 Catalyst 3560CPD-8PT-S スイッチ正面図



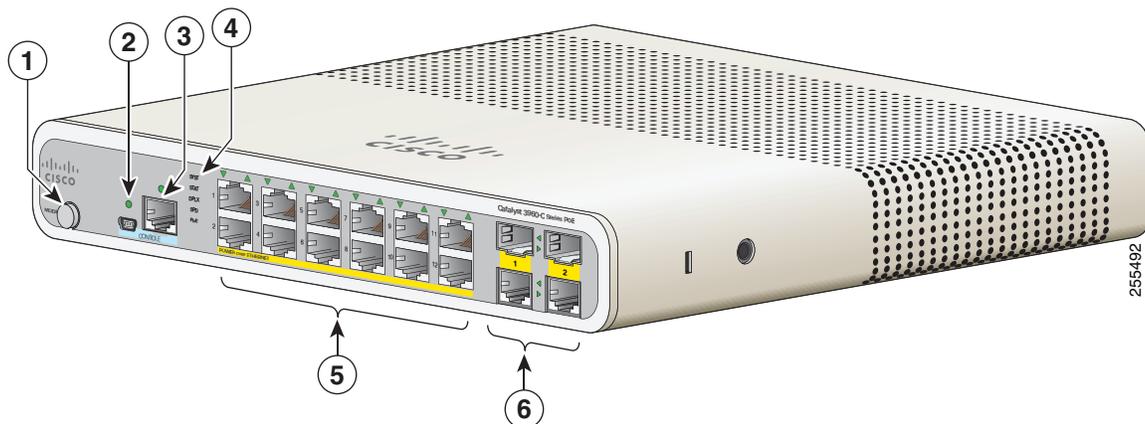
1	Mode ボタン	5	LED
2	USB タイプ A ポート	6	10/100/1000 PoE ポート
3	USB ミニタイプ B (コンソール) ポート	7	10/100/1000 アップリンク ポート
4	RJ-45 コンソール ポート		

図 1-4 Catalyst 2960C-12PC-L スイッチ正面図



1	Mode ボタン	4	LED
2	USB ミニタイプ B (コンソール) ポート	5	10/100 PoE ポート
3	RJ-45 コンソール ポート	6	デュアルパーパス ポート

図 1-5 Catalyst 3560C-12PC-S スイッチ正面図



1	Mode ボタン	4	LED
2	USB ミニタイプ B (コンソール) ポート	5	10/100 PoE ポート
3	RJ-45 コンソール ポート	6	デュアルパーパス ポート

10/100 および 10/100/1000 ファスト イーサネット ダウンリンク ポート

全二重モードまたは半二重モードのいずれかで 10 Mb/s または 100 Mb/s で動作するように 10/100 ポートを設定できます。全二重モードまたは半二重モードのいずれかで 10 Mb/s、100 Mb/s、または 1000 Mb/s で動作するように 10/100/1000 ポートを設定できます。これらのポートでは速度とデュプレックスを自動ネゴシエーションに設定することもできます（自動ネゴシエーションはデフォルトの設定です）。

Automatic medium-dependent interface crossover (auto-MDIX) は、スイッチ インターフェイスが必要なケーブル接続タイプ (ストレートまたはクロス) を検出し、適切な接続設定を自動的に行うことを可能にします。Auto-MDIX をイネーブルにすると、ストレート ケーブルまたはクロス ケーブルを使ってほかのデバイスを接続することができ、不適切な配線が自動的に修正されます。いずれの場合も、接続先装置との距離が 328 フィート (100 m) 以内でなければなりません。

10/100/1000 ポートでは、イーサネット ピン割り当ての RJ-45 コネクタを使用します。最大ケーブル長は 328 フィート (100 m) です。100BASE-TX と 1000BASE-T のトラフィックでは、カテゴリ 5、カテゴリ 5e、またはカテゴリ 6 のシールドなしツイストペア (UTP) ケーブルが必要です。

10BASE-T トラフィックでは、カテゴリ 3 ケーブルまたはカテゴリ 4 UTP ケーブルを使用できます。

ポートの接続および仕様の詳細については、「[10/100 および 10/100/1000 ポートへの接続](#)」(P.2-33) を参照してください。

PoE ポート (PoE ポート搭載スイッチ)

PoE および PoE+ ポートは、802.3af および 802.3at に準拠した装置をサポートする PoE 機能を備えており、Cisco IP Phone や Cisco Aironet アクセス ポイントをサポートするシスコ独自規格の PoE および PoE+ 機能も備えています。

Catalyst 2960CPD-8PT-L、2960C-8PC-L、2960C 12 PC L、および 3560CPD-8PT-S が備えている 8 つのダウンリンク ポートはすべて PoE 対応です。ポートごとに 15.4 W の PoE を供給できます。

最大スイッチ電力出力は、Catalyst 2960CPD-8PT-L で 22.4 W、Catalyst 3560CPD-8PT-S で 15.4 W です。また、Catalyst 2960C-8PC-L および 2960C 12 PC-L の最大スイッチ電力出力は 123.2 W です。

Catalyst 3560CG-8PC-S、3560C-8PC-S、および 3560C-12PC-S の各スイッチが備える 8 個または 12 個のダウンリンク ポートはすべて PoE+ 対応です。スイッチの最大電源出力は 123.2 W です。PoE および PoE+ は、次のように給電できます。

- 8 つのポートで 15.4 W の PoE 出力
- 4 つのポートで 30 W の PoE+

IP 電話機またはアクセス ポイントを接続するときに、自動的に電力を供給するかどうかをポート単位で制御することができます。

10/100/1000 PoE ポートは、RJ-45 コネクタとイーサネット ピン割り当てを使用します。最大ケーブル長は 328 フィート (100 m) です。100BASE-TX と 1000BASE-T のトラフィックでは、カテゴリ 5、カテゴリ 5e、またはカテゴリ 6 のシールドなしツイストペア (UTP) ケーブルが必要です。

10BASE-T トラフィックでは、カテゴリ 3 ケーブルまたはカテゴリ 4 UTP ケーブルを使用できます。

シスコのインテリジェント電源管理機能には、高度な電力ネゴシエーション、電力確保、およびポート単位の電力ポリシングが含まれます。PoE ポートの設定とモニタリングについては、Cisco.com でスイッチのソフトウェア コンフィギュレーション ガイドを参照してください。

ポートの接続および仕様の詳細については、「[10/100 および 10/100/1000 ポートへの接続](#)」(P.2-33) を参照してください。



(注) PoE 回路の出力は、IEC 60950-1 の Limited Power Source (LPS; 有限電源) として評価されています。

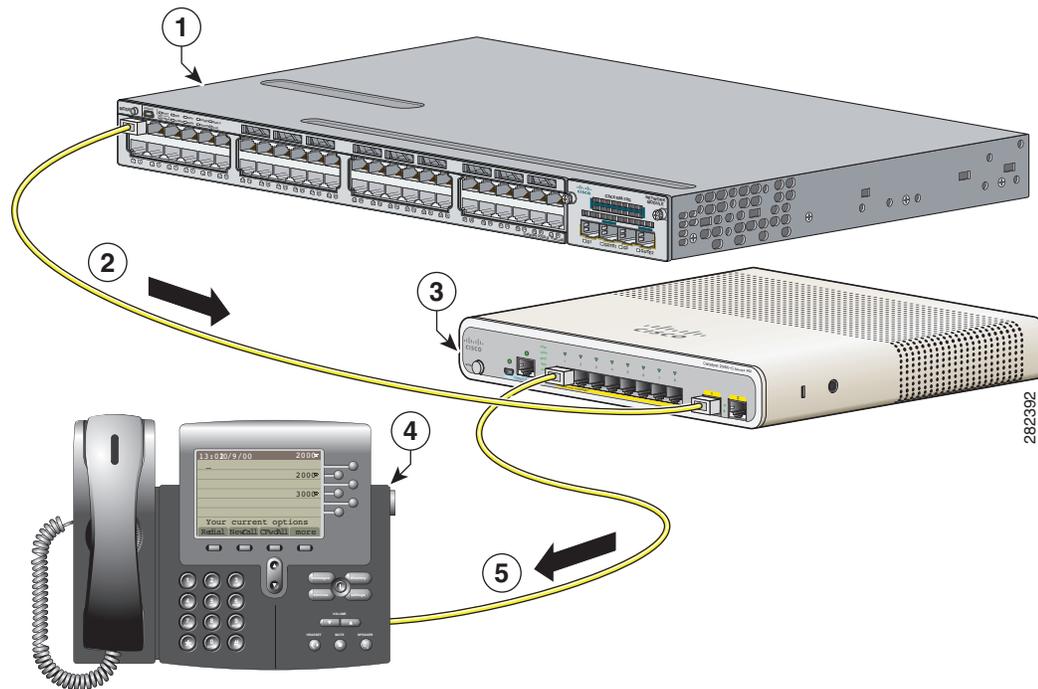
PoE パススルー

Catalyst 2960CPD-8PT-L および 3560CPD-8PT-S の各スイッチには PoE パススルー機能があります。Catalyst 2960CPD-8PT-L は、PoE スイッチまたは PoE+ スイッチから 10/100/1000 PoE アップリンク ポート経由で、あるいは予備電源アダプタから電源供給を受けます。Catalyst 3560CPD-8PT-S は、

PoE+ スイッチから 10/100/1000 PoE アップリンク ポート経由で、あるいは予備電源アダプタから電源供給を受けます。スイッチに余剰電力がある場合は (表 1-2 を参照)、IP Phone やアクセス ポイントなどの他の PoE 対応装置に電力を供給できます。図 1-6 を参照してください。

スイッチの電源投入については、「スイッチの電源投入」(P.2-4) を参照してください。

図 1-6 PoE パスルー



1	PoE または PoE+ アップリンク スイッチ (例として Catalyst 3750-X を表示)	4	Catalyst 2960-C から IP Phone にダウンリンクポート経由で電力を供給
2	PoE+ スイッチから Catalyst 2960-C スイッチに電力を供給	5	PoE ダウンリンクポートから IP Phone に電力を供給
3	Catalyst 2960-C スイッチ		

スイッチの使用可能な PoE 給電力は、アップリンク スイッチから送られる PoE によって異なります。表 1-2 を参照してください。

表 1-2 Catalyst 2960CPD-8PT-L に給電する PoE

アップリンク ポートの電源オプション	アップリンク スイッチから送られる電力	使用可能な PoE 給電力
1 PoE アップリンク	15.4 W	–
2 PoE アップリンク	30.8 W	7 W
1 PoE+ アップリンク	30 W	7 W
2 PoE+ アップリンク	60 W	22.4 W
1 PoE および 1 PoE+ アップリンク	45.4 W	15.4 W
予備電源入力	–	22.4 W

表 1-3 Catalyst 3560CPD-8PT-S スイッチに給電する PoE

アップリンク ポートの電源オプション	アップリンク スイッチから送られる電力	使用可能な PoE 給電力
1 PoE+ アップリンク	30 W	–
2 PoE+ アップリンク	60 W	15.4 W
予備電源入力	–	15.4 W

PoE アップリンク ポート (Catalyst 2960CPD-8TT-L、2960CPD-8PT-L、および 3560CPD-8PT-S)

Catalyst 2960CPD-8TT-L および 2960CPD-8PT-L の 10/100/1000 PoE アップリンク ポートでは、PoE スイッチまたは PoE+ スイッチから電源供給を受けることができます。Catalyst 3560CPD-8PT-S の 10/100/1000 PoE アップリンク ポートは PoE+ スイッチから電源供給を受けることができます。アップリンク ポートは、それぞれ異なる PoE スイッチに接続することも、同じ PoE スイッチに接続することもできます。[図 1-6](#)を参照してください。



(注) スイッチの背面に接続している外部の予備電源アダプタを使用することもできます。予備電源アダプタは、シスコの担当者に発注してください。詳細については、「[予備電源アダプタ \(P.1-15\)](#)」を参照してください。

PoE 対応ダウンリンク ポート (Catalyst 2960CPD-8PT-L、3560CG-8PC-S、3560CPD-8PT-S、2960C-8PC-L、2960C-12PC-L、3560C-8PC-S、および 3560C-12PC-S)

使用可能な PoE 給電力に応じて、これらのスイッチから、IP Phone やアクセス ポイントなどの他の PoE 対応装置に電力を供給できます。PoE の給電力については、[表 1-2](#)を参照してください。[図 1-6](#)を参照してください。

スイッチの電源投入については、「[スイッチの電源投入 \(P.2-4\)](#)」を参照してください。

USB タイプ A ポート

USB タイプ A ポートを備えたモデルもあります。このポートから、外部 Cisco USB フラッシュ デバイス（サム ドライブや USB キーとも呼ぶ）にアクセスできます。このポートは、64 MB ~ 1 GB の容量の Cisco USB フラッシュ ドライブをサポートします。

Cisco IOS ソフトウェアは、フラッシュ デバイスに対する標準ファイル システム アクセス（読み取り、書き込み、消去、コピー）を提供するとともに、フラッシュ デバイスを FAT ファイル システムでフォーマットする機能を提供します。

スイッチの管理ポートの詳細については、Cisco.com にあるスイッチのソフトウェア コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスを参照してください。

デュアルパーパス ポート

スイッチのデュアルパーパス ポートは、10/100/1000 ポートまたは SFP モジュール ポートとして設定できます。10/100/1000 ポートは自動ネゴシエーションに設定することも、10、100、または 1000 Mb/s の固定（ギガビット）イーサネット ポートとして設定することもできます。

デフォルトでは、スイッチはデュアルパーパス ポート（10/100/1000BASE-T または SFP）ごとにメディアを選択します。1 つのメディア タイプでリンクが達成されると、アクティブ リンクが停止するまで、スイッチは他方のメディア タイプをディセーブルにします。リンクが両方のメディアでアクティブになった場合は SFP モジュール ポートが優先されますが、**media-type** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、ポートを RJ-45 ポートまたは SFP ポートとして手動で指定できます。

選択されたメディア タイプに合った速度とデュプレックスを設定できます。インターフェイスの設定については、スイッチのソフトウェア コンフィギュレーション ガイドを参照してください。

SFP モジュール

スイッチのイーサネット SFP モジュールは、他の装置との接続を可能にします。これらの現場交換可能なトランシーバ モジュールは、アップリンク インターフェイスを提供します。これらのモジュールには、光ファイバ接続用の LC コネクタまたは銅線接続用の RJ-45 コネクタが装備されています。

サポートされている次の SFP モジュールを、任意の組み合わせで使用できます。

- GLC-LH-SM=
- GLC-SX-MM=
- GLC-ZX-SM=
- GLC-BX-D=
- GLC-BX-U=
- GLC-FE-100FX=
- GLC-FE-100LX=
- GLC-FE-100BX-D=
- GLC-FE-100BX-U=
- CWDM SFP

SFP モジュールについては、使用する SFP モジュールのマニュアルと「[SFP モジュールの装着](#)」(P.2-31) を参照してください。ケーブルの仕様については、「[SFP モジュール ケーブル](#)」(P.B-3) を参照してください。

管理ポート

スイッチは、RJ-45 コンソールポートまたは USB ミニタイプ B コンソールポート（*USB-mini* コンソールポートとも呼ぶ）経由で、Microsoft Windows 搭載の PC またはターミナルサーバに接続できます。

- RJ-45 コンソールポート。RJ-45 接続では、RJ-45/DB-9 メス ケーブルを使用します。
- USB-mini コンソールポート（5 ピン コネクタ）。USB 接続では、USB タイプ A/5 ピン ミニタイプ B ケーブルを使用します。

USB-mini コンソールのインターフェイス速度は、RJ-45 コンソールのインターフェイス速度と同じです。

USB-mini コンソールポートを使用するには、USB-mini コンソールポートに接続する Microsoft Windows 搭載デバイスに Cisco Windows USB デバイス ドライバをインストールする必要があります。



(注)

Cisco USB デバイス ドライバのダウンロード方法については、「[Cisco Microsoft Windows USB デバイス ドライバのインストール](#)」(P.C-4) を参照してください。

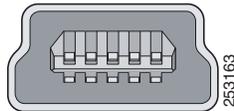
Cisco Windows USB デバイス ドライバをインストールした状態で、コンソールポートに USB ケーブルを接続したり切断したりしても、Windows HyperTerminal の動作には影響ありません。Mac OS X と Linux には、特別なドライバは必要ありません。



(注)

5 ピン ミニタイプ B コネクタは 4 ピン ミニタイプ B コネクタと似ていますが、これらに互換性はありません。5 ピン ミニタイプ B 以外は使用しないでください。図 1-7 を参照してください。

図 1-7 USB ミニタイプ B ポート



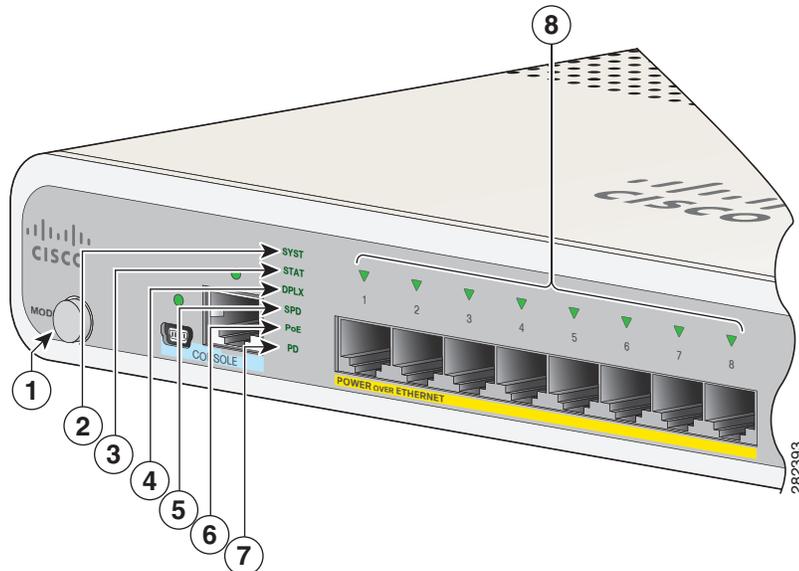
無活動タイムアウトを設定している場合、USB-mini コンソールポートがアクティブ化されているものの、指定された時間内に入力アクティビティがないときに、RJ-45 コンソールポートが再度アクティブになります。USB-mini コンソールポートがタイムアウトのために再度アクティブになると、USB ケーブルを切断し、再接続することによって動作を復元できます。CLI を使用して USB-mini コンソールインターフェイスを設定する方法については、スイッチのソフトウェアガイドを参照してください。

LED

スイッチ システムおよびポートの LED を使用して、スイッチの動作やパフォーマンスをモニタできます。

スイッチ パネルの LED

図 1-8 スイッチ LED



1	Mode ボタン	5	SPD LED (速度)
2	SYST LED (システム)	6	PoE LED ¹
3	STAT LED (ステータス)	7	PD LED ² (受電デバイス)
4	DPLX LED (デュプレックス)	8	ポート LED

1. PoE ポート搭載のスイッチに適用します。

2. PD LED は、Catalyst 2960CPD-8PT-L および 3560PD-8PT-S の各スイッチにのみ用意されています。

システム LED

表 1-4 システム LED

色	システム ステータス
Off	システムの電源が入っていません。
グリーン	システムは正常に動作しています。
オレンジ	システムは電力を受けていますが、正常に動作していません。

コンソール LED

コンソール LED はコンソール ポートが使用中であることを示します。LED の位置については、[図 1-1](#) および [図 1-2](#) を参照してください。

ケーブルをコンソール ポートに接続している場合は、自動的に、そのポートがコンソール通信に使用されます。2 本のコンソール ケーブルを接続すると、USB-mini コンソール ポートが優先されます。

表 1-5 RJ-45 および USB-Mini コンソール ポートの LED

LED	色	説明
RJ-45 コンソール ポート	グリーン	RJ-45 コンソール ポートがアクティブです。 USB-mini コンソール ポート LED は非アクティブです。
	Off	ポートが非アクティブです。 USB-mini コンソール ポートはアクティブです。
USB-mini コンソール ポート	グリーン	USB-mini コンソール ポートはアクティブです。 RJ-45 コンソール ポート LED は非アクティブです。
	Off	ポートが非アクティブです。 RJ-45 コンソール ポートがアクティブです。

ポート LED のモード

これらのポート LED は、グループとして、または個別に、スイッチや個々のポートについての情報を示します (表 1-5)。

表 1-6 ポート LED のモード

LED	ポート モード	説明
STAT	ポート ステータス	ポートのステータスを示します。これは、デフォルトのモードです。
DUPLX	ポートのデュプレックス ステータス	ポートのデュプレックス モード：全二重または半二重
SPD	ポート速度	ポートの動作速度 (10、100、または 1000 Mb/s)。
PD ¹	受電デバイス	アップリンク ポートのステータスを示します。
PoE	PoE ポートの電力	PoE のステータスを示します。

1. PD LED は、Catalyst 2960CPD-8PT-L および 3560PD-8PT-S の各スイッチにのみ用意されています。

ポート LED

RJ-45 ポートおよび SFP モジュール スロットにはポート LED が装備されています。これらの LED はグループとして、または個別に、スイッチ情報および個々のポート情報を示します。

表 1-7 ポート LED カラーの意味

LED カラー	意味
Off	リンクが確立されていないか、ポートが管理上の理由でシャットダウンされました。
グリーン	リンクは存在しますが、データは送受信されていません。
緑色に点滅	アクティブな状態です。ポートがデータを送信または受信しています。
グリーンとオレンジに交互に点滅	リンク障害が発生しています。エラー フレームが接続に影響を与える可能性があります。リンク障害について、大量のコリジョン、CRC エラー、アライメント/ジャバ エラーなどのエラーがモニタされています。
オレンジ	ポートがスパンニングツリー プロトコル (STP) によってブロックされており、データを転送していません。ポートを再設定した後は、STP によってループが検索されるので、最大 30 秒間 LED がオレンジに点灯します。

PoE LED

PoE モードが選択されていない場合でも、LED は、検出された PoE 障害を示します (表 1-8)。PoE LED は、PoE をサポートするスイッチにのみ搭載されています。

表 1-8 PoE LED

色	意味
Off	PoE がディセーブルです。
グリーン	PoE がイネーブルです。ポートは適切に動作しています。
オレンジに点滅	<ul style="list-style-type: none"> PoE モードが選択されていません。 1 つ以上の 10/100 または 10/100/100 PoE ポートに電力が供給されていません。 または 1 つ以上のポートに PoE 障害があります。

PD LED

Catalyst 2960CPD-8PT-L および 3560PD-8PT-S の各スイッチのみが該当します。(表 1-9)。

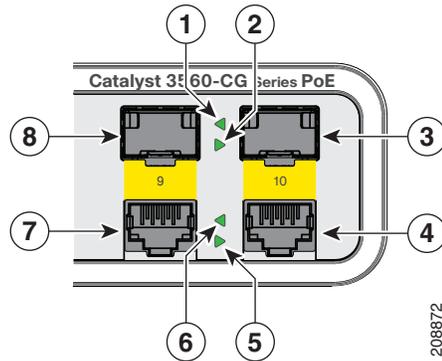
表 1-9 PD LED

色	意味
Off	スイッチの電源がオフになっています。
オレンジに点滅	スイッチは PoE 装置から受電していますが、スイッチへの電力が不十分です。
オレンジ	スイッチは、予備電源アダプタによってのみ電力供給されています。
オレンジ/グリーン	スイッチは、予備電源によって電力供給されていますが、PoE 装置からも受電しています。
グリーン	スイッチは、PoE スイッチから PoE アップリンク ポートを通じて電力供給されています。

デュアルパーパス ポート LED

デュアルパーパス ポート LED は、銅線ベース コネクタまたは SFP モジュールとして接続を識別します。ポートは自動ネゴシエーションが可能ですが、銅線コネクタを使用する 10/100/1000 として、または SFP モジュール ポートとしてデュアルパーパス ポートごとに手動で設定することもできます。ただし、同時に両方のタイプを設定することはできません。LED については、表 1-7 を参照してください。

図 1-9 デュアルパーパス LED

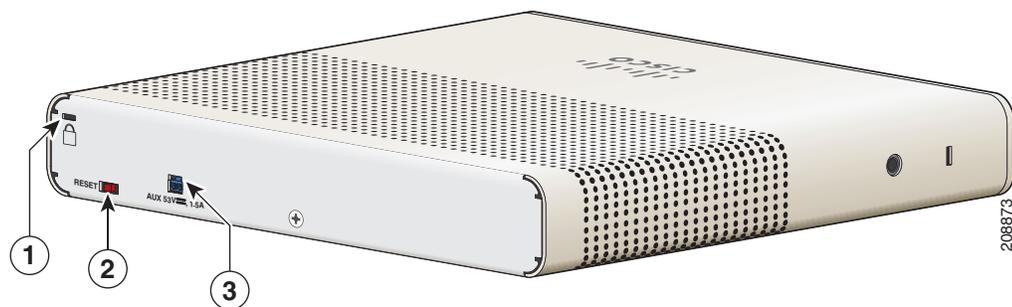


1	SFP モジュール ポート LED	5	RJ-45 ポート LED
2	SFP モジュール ポート LED	6	RJ-45 ポート LED
3	SFP モジュール スロット	7	RJ-45 コネクタ
4	RJ-45 コネクタ	8	SFP モジュール スロット

背面パネル

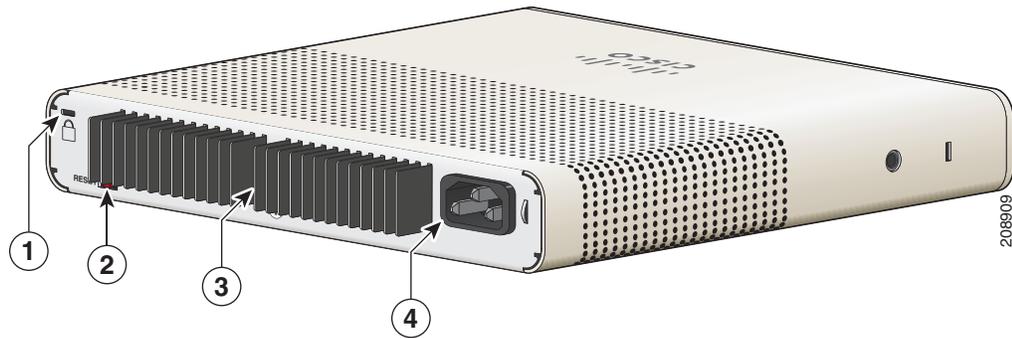
- リセット ボタン
- セキュリティ スロット
- AC 電源コネクタまたは電源アダプタ コネクタ
- ヒートシンクのフィン (Catalyst 3560CG-8PC-S、2960C-8PC-L、2960C-12PC-L、3560C-8PC-S、および 3560C-12PC-S の各スイッチ)

図 1-10 Catalyst 2960CPD-8PT-L スイッチの背面パネル



1	セキュリティ スロット	3	電源アダプタ コネクタ
2	リセット ボタン		

図 1-11 Catalyst 3560CG-8PC-S スイッチの背面パネル



1	セキュリティスロット	3	ヒートシンクのフィン
2	リセットボタン	4	AC 電源コネクタ

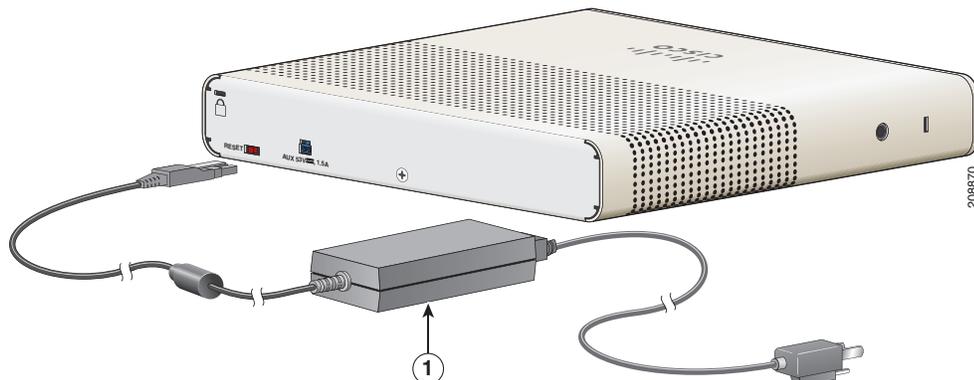
内蔵電源装置

Catalyst 2960CPD-8TT-L、2960CPD-8PT-L、および 3560CPD-8PT-S を除くすべてのスイッチは、内蔵電源装置から給電を受けます。内蔵 AC 電源装置は、入力電圧 100 ~ 240 VAC に対応するオートレギュレーションユニットです。AC 電源コードを AC 電源コネクタと AC 電源コンセントに差し込みます。

予備電源アダプタ

Catalyst 2960CPD-8TT-L、2960CPD-8PT-L、および 3560CPD-8PT-S の各スイッチは内蔵電源装置を備えていません。これらのスイッチには、10/100/1000 アップリンク ポートまたは予備電源アダプタを通じて電力供給できます。予備電源アダプタ (PWR-ADPT) はスイッチと一緒に発注することも、シスコの担当者にあとで発注 (PWR-ADPT=) することもできます。

図 1-12 外部予備電源アダプタ経由の接続



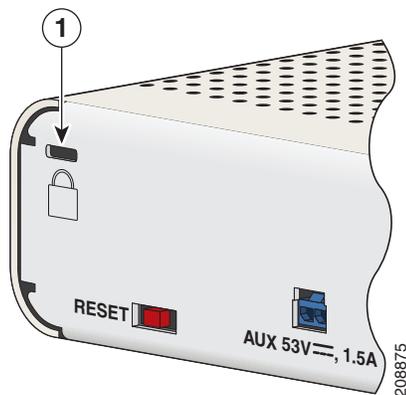
1	予備電源アダプタ
---	----------

セキュリティ スロット

スイッチの背面パネルには、セキュリティ スロットがあります。オプションのケーブルロック（ラップトップ コンピュータを固定するのに使用されるようなタイプ）をスイッチに取り付けて固定することができます。

図 1-13 に、背面パネルのスロットを示します。

図 1-13 スイッチの左側面パネル



1	セキュリティ スロット
---	----------------

リセット ボタン

リセット ボタンを押すと、スイッチの電源を再投入できます。図 1-13 を参照してください。

管理オプション

- Cisco Network Assistant

Network Assistant は PC ベースのネットワーク管理 GUI であり、Cisco LAN スイッチ、コア スイッチ、ルータ、アクセス ポイント、IP Phone、および PIX ファイアウォールの集中管理機能を提供します。

Network Assistant は、次の URL から無料でダウンロードできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5931/tsd_products_support_series_home.html

Network Assistant の起動については、Cisco.com にある『*Getting Started with Cisco Network Assistant*』を参照してください。CNA サポートについては、スイッチのリリース ノートを参照してください。

- デバイス マネージャ

スイッチのメモリ内にあるデバイス マネージャを使用すると、個々のスタンドアロン スイッチを管理できます。Web インターフェイスであるデバイス マネージャにより、迅速に設定およびモニタできます。デバイス マネージャには、Web ブラウザを介して、ネットワーク上のどこからでもアクセスできます。詳細については、デバイス マネージャのオンライン ヘルプを参照してください。

- Cisco IOS CLI

スイッチの CLI は、Cisco IOS ソフトウェアに基づいており、デスクトップスイッチング機能をサポートしています。CLI を使用してスイッチおよびスイッチ クラスタ メンバを設定し、モニタできます。CLI にアクセスするには、管理ステーションをスイッチ コンソール ポートに直接接続するか、リモート管理ステーションから Telnet を利用します。詳細については、Cisco.com にあるスイッチのコマンド リファレンスを参照してください。

CLI を使用するセットアップ手順については、付録 C「CLI セットアップ プログラムによるスイッチの設定」を参照してください。

- CiscoView アプリケーション

CiscoView デバイス管理アプリケーションには、スイッチのイメージが表示されます。これを使用して、コンフィギュレーション パラメータを設定したり、スイッチの状態やパフォーマンスを確認したりすることができます。CiscoView アプリケーション (別売) は、スタンドアロン アプリケーションとして利用することも、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) に組み込むこともできます。詳細については、CiscoView のマニュアルを参照してください。

- SNMP ネットワーク管理

CiscoWorks LAN Management Solution (LMS) や HP OpenView などの SNMP 管理アプリケーションを使用してスイッチを設定および管理できます。また、HP OpenView や SunNet Manager などのプラットフォームが稼働している SNMP 対応のワークステーションからスイッチを管理することもできます。

Cisco Configuration Engine は、スイッチのソフトウェアに組み込まれた CNS エージェントと連携するネットワーク管理デバイスです。Cisco Configuration Engine を使用して、スイッチの初期設定および設定更新を自動化できます。

ネットワーク構成

ネットワーク構成の概念については、Cisco.com で提供されているスイッチのソフトウェア コンフィギュレーション ガイドを参照してください。ソフトウェア コンフィギュレーション ガイドには、イーサネット接続を介して相互接続された専用のネットワーク セグメントを作成するためのネットワーク 設定例も記載されています。

